



2023年

「子どもの食 応援ボックス」 実施報告

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
2024年3月

©利用者提供写真

はじめに

「子どもの食 応援ボックス」は、一つ目の柱、「子どもの貧困問題解決」事業の一環で取り組んでいます。

① 子どもの貧困問題解決

② 緊急支援・防災

③ 子どもの権利推進

地域NPO支援

- すべての子どもたちの権利が守られることの重要性について、社会全体の理解深化のための啓発活動を広く実施します。
- 困難な状況にある子どもたちに焦点を当てた直接支援や政策提言を行います。

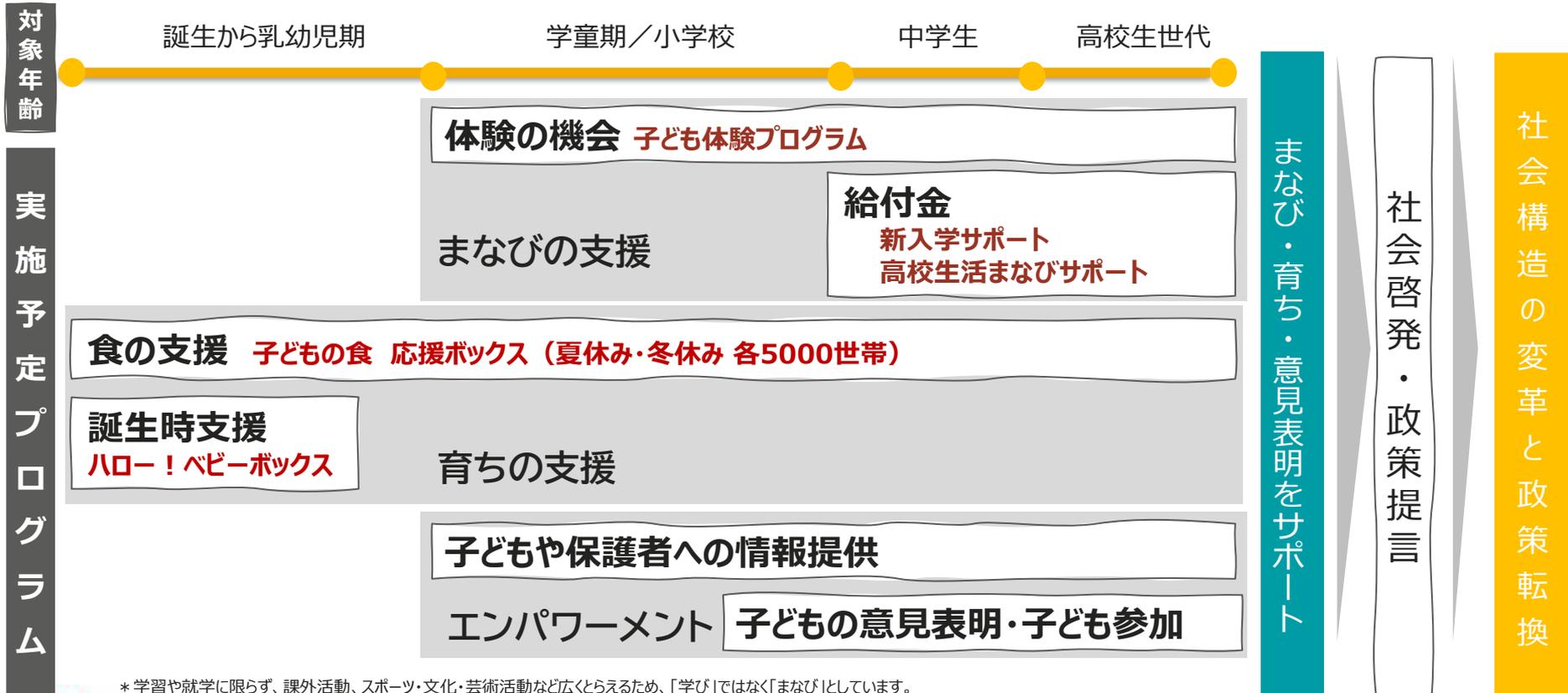
国内における活動 3本柱のご紹介

日本に住む子どもたちの権利が守られ、希望をもち、衡平に可能性を発揮できる社会の実現を目指します。

子どもの貧困の課題に 幅広いアプローチで包括的に取り組みます

0歳から18歳までの子どもの**まなび**、**育ち**、**意見表明**をサポートします。
直接支援と**社会啓発・政策提言**を合わせて実施することで**社会変革**を目指します。

特に経済的に困窮し、かつ障害や病気、外国ルーツなど生活上の困難がある子育て世帯に焦点をあてています

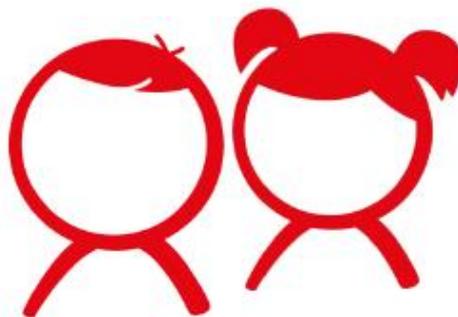


* 学習や就学に限らず、課外活動、スポーツ・文化・芸術活動など広くとらえるため、「学び」ではなく「まなび」としています。

子どもたちを取り巻く貧困の課題

11.5%

子どもの相対的貧困率



44.5%

ひとり親家庭の相対的貧困率

2世帯に1世帯

※相対的貧困線の目安:可処分所得が約127万円未満

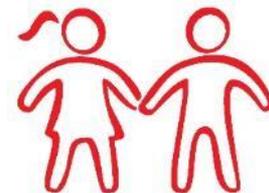
※厚生労働省「2022(令和4)年度国民生活基礎調査」より

高校の制服、ジャージ、修学旅行、部活、教材など
収入が少なくて買えないものがある

母が働けていないので、生活するのにとても大変で、
自分が進みたい学校に入学できるか不安

お金のことが常に不安。挑戦したい
ことが言い出せない。

母はお金のことで私に負担をかけないように心配なくていいといつも
も言ってくれるが、子供は意外と親の考えてることもわかるし、食卓
を見ればそろそろお金が無くなってきてるんだなとわかる。



2023年「冬休み 子どもの食 応援ボックス」 申込時のアンケート結果

1.【約9割の世帯で物価上昇の影響により十分な食料を買うお金がない】

「冬休み 子どもの食 応援ボックス」の申込理由として、85.6%の世帯が「物価上昇による食費の値上がりにより、十分な食料を買うお金がない」と回答している。

2.【長期休暇中に昼食を十分な量とれていない子どもは45.0%】

長期休暇中など給食がない期間に十分な昼食がとれていない子どもは、学校がある期間の6倍以上となり、長期休暇中に子どもの食の状況が悪化している実態が明らかとなった。

3.【97.3%の世帯で物価上昇による子どもへのマイナスの影響がある】

具体的な影響として、「子どもの衣類・靴などを買う回数を減らした・買わなくなった」との回答が58.4%と最も多かった。また、野菜・果物や肉・魚を「買う回数を減らした・買わなくなった」との回答も半数を超えており、主食である米やパンについても3割近くが買い控えをしていることが明らかとなった。

4.【半数以上の世帯で子どもにクリスマスプレゼントやお年玉をあげることができない】

冬休みの子どもの過ごし方について、周囲と同じような体験をさせることが経済的に難しく「子どもに我慢させている」「子どもに申し訳ない」といった声が多くあがっている。

アンケート結果などをもとに
ひとり親家庭への児童扶養手当の増額と所得制限の
緩和を要望する政策提言活動を行っています。



「子どもの食 応援ボックス」概要

※実施時期によって変動あり

給食のない長期休暇期間中の子どもたちの食の状況改善を目的として、経済的に困難な状況にある世帯を対象に実施

配布内容

- 食料品セット（米などの主食、副菜となるレトルト食品、調味料、お菓子など）
- 日用品、文房具
- 情報提供（子育て支援情報など）

対象条件

- 日本に居住していて、18歳未満の子どもがいる、住民税所得割非課税またはそれに準ずる世帯

配布数

- 夏休み 5000世帯
- 冬休み 5000世帯

きっかけは…
2020年3月に実施した
「緊急子どもアンケート」
「はらへった」の声



2023年「夏休み 子どもの食 応援ボックス」を受け取った方々より



こんなにたくさんの食料を目にするとテンションが上がります。
高校生の息子も夏休みに自分でお昼用意することが出来るので喜んでます。
寄付をしてくださった方、梱包するボランティアの方、大変な事務的作業をしてくださった方、
本当に多くの方に感謝の気持ちでいっぱいです。

たくさんの食品本当にありがとうございます！これから夏休みがくるからとても助かります！！子供達はわあー！！これ好きなやつ！とかすごーい！！と大喜びです。

たくさんの食料品に加え、文房具や歯ブラシも本当にありがとうございました。
ずっしりと重たいダンボールが、人の優しさや思いやりだと毎回有難く感じています。
三人の子供のうち、上の子二人が高校生になると、本当に食品があつという間になくなります。
受験や塾、部活に忙しく頑張っている子供には栄養たっぷり、心も潤わせてあげられる食卓を作ってあげたいと心から思っていますが、なかなか満足のいくご飯を作ってあげられず、いつも申し訳なく思っています。
長期休みが目前に迫ると、本当に絶望しそうになります。
なので、食料支援には私の心も救われています。本当に感謝しています。ありがとうございます。
珍しい食品も数多くあり、さっと提供できそうなものもあって、楽しくご飯の支度ができそうで嬉しいです。
普段家にはないようなものがあると、子どもたちもすぐ気がついて話かけてくれます。会話のきっかけにもなっています。
応援してくださる方がいるということを忘れず、頑張って酷暑で物価高のこの夏を乗り越えこえていきたいです。



2023年「夏休み 子どもの食 応援ボックス」を受け取った方々より

ローマ字をかたどったクッキー、特に喜んでいました。最近保育園で英語をやり始めたばかりなので、「ABCのクッキーだ！」とはしゃいでいました。

児童扶養手当のない8月を前に、たくさんの食料を送ってくださり、本当にありがとうございます。お米を買えないほど困窮する月も多々あるので、これでしばらくは食べていけると思いました。ありがとうございます。



こんな風に見えない所でいろんな人達に支えられて生かされているんだね。ありがたいなあ。

と話していて、改めて、温かな人の心を通じて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

夏休み 食の応援ボックスを頂いてありがとうございました。(^^)

子供達は段ボールが届いたら興味津々に、箱の中身を見て、お菓子だあ〜とラーメンだあ〜と沢山の食料を見て、大喜びでした。

こんなに沢山、心から感謝します。ありがとうございました。

まず最初に箱を開けた時にノートとボールペン歯ブラシと、今本当に必要としているものがあって驚きました。

また、中はどれも使いやすいインスタント(パスタソース 麺類 カップ麺)と子どもに必要なおかし(今はほとんど買ってあげていませんでした)、お米も古米ではなく保管の気温や期間が心配ないもので全てに置いて助かるものばかりで、心震えるほどに感謝の気持ちが溢れました。ありがとうございます。



2023年「夏休み 子どもの食 応援ボックス」を受け取った方々より

お米や麺類やスープ、お菓子、文具まで幅広く色々な品物を入れていただき、子供も大人もみんなで大喜びしました。夏休みは学校がないですが部活はあり、お弁当や昼食の用意で普段以上に消費がかさみ、毎年本当にきつい月になります。

夜は暑すぎて冷房を入れずにはいられません。それでもシャワーは週に2回位しか入れませんので、娘も顔を頻りに洗って過ごしています。

文具やお菓子といったものは全く買えない状況ですので、こちらの箱が届くと、夏のサンタだと娘は大興奮で開封します。今回は品数が多く、出しても出してもまだ入っていると床に全て並べて何から食べようかと長いこと眺めていました。こちらのご支援が私達にとっては命のたすきのように大切なご支援です。本当にありがとうございます。

娘をかかえてまだがんばれるのかと不安になる日々もありますが、お顔も合わせたことがない方にこんなにあたたかくしていただき、私達も頑張らなければと励まされます。



こんなに色々高いのに、もらえるのは、嬉しいね。っと子供達も物価高騰をちゃんと理解してるようです。

長い夏休み、母子家庭の我が家はどこにも行く予定はありませんが、送っていただいた応援ボックスのおかげで心は温かく名前も顔も知らない方々の善意でもうこの上なく幸せです。どれも素敵なものばかり。大切に使用させていただきます。美味しく食べさせて頂きます。本当に本当に心から有難うございます。

2023年「冬休み 子どもの食 応援ボックス」の中身

24社にご協力いただき、
42品目を届けました。



2023年「冬休み 子どもの食 応援ボックス」を受け取った方々より

いつも、長期休みに間に合うように応援ボックス送っていただいて本当に感謝しかありません。応援ボックスと一緒に開ける事も慣れてきて障害のある子供ですが、ひとつひとつの品にお礼をいながら好物なども沢山入れていただいて、自分で「ありがたいね」と送って下さった方々のたいへんさが伝わるようで「申し訳ないね」と何度も呟く姿を見ているとセーブザチルドレンのスタッフの方々や支援いただいている協力企業様の優しさが伝わるようになり、おかげさまで優しい子供に成長していると感じられました。

本当に、いつも力強いご支援親子共々感謝いたします。ありがとうございました。たいせつに活用させていただきます。



たくさんの食品や文房具を受け取りました。
子供達がワクワクしながら開封し、喜んでいました！
子供達の笑顔が見れてとても嬉しいです。
本当にありがとうございます！！

重たい箱が届いて、開けてみたら中からこれでもかかってくらいの食材が出てきて、床に並べて出したら、高校生の息子がめずらしく寄ってきて、これ好きなやつだから置いといてとか、これは冬休みに食べようとか、いつになく楽しそうにたくさん喋って、親子で開封作業で盛り上がりました。

やはり食べ物がたくさん並ぶと幸せな気持ちになります。

このような企画を立ててくださる方、物資を届けてくださった方、物資を梱包してくださった方など、たくさんの人へ感謝の気持ちを伝えたいです。



2023年「冬休み 子どもの食 応援ボックス」を受け取った方々より

今年も沢山ありがとうございますの気持ちで一杯です。
この御恩は、私達家族が幸せになりお返ししたいと、
改めて感じてます。

ありがとうございます、いつも本当に助かってます。
気持ちが楽になります。少し、誰かが気にかけてく
れていると言うだけで、頑張れます

この度は、当選させて頂き心の底から感謝しております。
最初に思った感想は、箱の大きさと物資の種類が多さにとても驚きました。
冬は特に心も寂しくなり、学校給食も無いので子供達にしっかり毎日三食の食事を与えてやれるのかとても不安で
した。
なので、この応援ボックスですごく安心しましたし、皆様のご協力で心も温かくなりました。
子供達もおやつや文房具に喜んでおります。

本日、思いの詰まった重い荷物が届きました。
たくさんの食料、大変嬉しく思います。こんなに入っているため、重くなるのは当然で
す。関わってくださった皆様の思いもしっかり受け止めました。
子どもが帰ってきて、一緒に開封しましたが、親子ともどもワクワクが止まりません。
このお陰で、これから迎える冬休み、年末年始を乗り切れそうです。
ありがとうございました。



2023年「冬休み 子どもの食 応援ボックス」を受け取った方々より



箱を開けた瞬間、子供たちはお菓子争奪戦開始 笑
とっても美味しそうな食品を送っていただきありがとうございました。
大人も嬉しいコーヒーまで♪
大切にいただきます。

家族全員で開けました。玉手箱みたいに次々の商品が出てきて、
皆大喜び。久しぶりの子供の笑顔に私の目には涙が溢れて、感謝
で胸が一杯です。ありがとうございました。

たくさん送っていただき、ありがとうございます。

子どもと一緒に開梱し並べてみるとかなりの数で、この応援ボックスに携わってくださった方々の温かいお気持ちがしっかり伝わってきました。

普段は安くてすむような決まったものしか食べないので、どれから食べようかと子どもと話がはずみました。
年末年始、経済的に厳しい者としてはキツイ時期ですが、楽しく過ごせそうです。



2023年「冬休み 子どもの食 応援ボックス」を受け取った方々より

ずっしりと重い箱が届き、すぐに子供が「わー！開けていい？」と言いながら開けると、子供達と次々に出てくるありがたい食料品に私までテンションが上がり、みんなで「すごーい??これ好きなやつだー、弟の大好きなコーンスープがあるよ！美味しそう??こんなにたくさん入ってるよー！」ととても明るく楽しい時間でした。

お菓子を見つけた時の子供のお菓子を取る早さがすごかったです。

そして文房具も大変喜んで、既に使っています。

お米やお餅、お蕎麦、麺つゆまで入っていて、年末年始をきちんと子供達に感じる食卓にさせてあげられる事、大人である私も嬉しいコーヒー、どれ一つ取っても子供の好きな物、大人がほっとひと息つける普段は我慢している飲み物まで皆様の思いが本当にありがたく詰まっているボックスでした。

ご支援頂きました方々、一つ一つ箱詰めして下さいました方々、配送してくれた方々、皆様に本当に感謝しています。

サンタさん?!ダンボールが届いた時のこどもたちはぴよんぴよん跳ねて凄くワクワクしていました。中身を見てサンタさんがママにプレゼントくれたんじゃないの!?これあればママ嬉しいよね! 私たちも嬉しい!と3.4歳の年子がニコニコしながら言っていました。本当に嬉しいです。ありがとうございます

クリスマスを目の前に控えているものの、日々食事の出費に家計がギリギリの状況です。そんな中、応援ボックスの中身を見て胸が熱くなり涙がでました。支援物資を提供して下さいました方々がいて、こうして私たちの手元に届くまで携わった下さった関係者の方々に本当に感謝致します。ありがとうございました。



支援企業の従業員の皆さまによる梱包ボランティア参加

目的・ねらい

ボランティア参加により、従業員あるいは会社として支援・賛同する「子どもの食 応援ボックス」事業およびセーブ・ザ・チルドレンの事業に対する理解を深め、社内での従業員エンゲージメントを高めていただく。

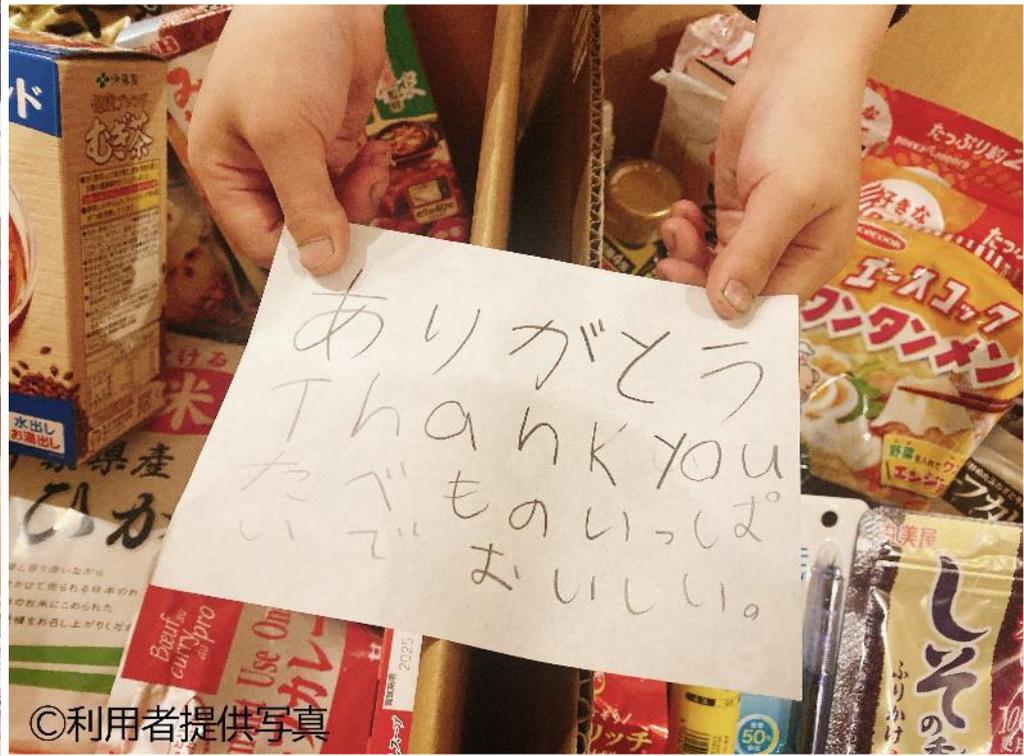
参加者推移

2021年冬	5社	5人
2022年夏	25社	108人
2022年冬	32社	148人
2023年夏	33社	139人
2023年冬	37社	177人



直接支援に関わってよかった、子どもの貧困問題について考えるきっかけになったという声のほか、社員同士や他社との交流がよかったなどの声もいただきました。

<https://www.youtube.com/watch?v=ZRufoAIRvYc>



©利用者提供写真

©利用者提供写真